

日本地球惑星科学連合 2008 年大会 <http://www.jpogu.org/meeting/index.htm>

大気化学セッション(F118)プログラム

会期:2008 年 5 月 29 日(木)-30 日(金)

会場:幕張メッセ 国際会議場 (〒261-0023 千葉県美浜区中瀬 2-1)

ポスター発表について

会場はコンベンションホールです。

コアタイムは 5 月 29 日(木)16:00 - 18:30 ですが、10:00 から掲示できます。

ボードサイズ: 幅 90cm × 高さ 210cm

掲示器具: プッシュピン (会場に準備しております)

口頭発表について

会場は 301A です。

発表 12 分 + 質疑応答 3 分の合計 15 分です。

パソコンの用意はございません。ご使用の際には、発表者ご自身でご準備下さい。

液晶プロジェクタには、切り替え器が付属してしており、次発表者は待機可能となっております。

日程

5月29日(木)

16:00 - 18:30 **ポスター発表**(コンベンションホール)

(18:00 - 運営委員会:101A)

5月30日(金)

9:00 - 17:00 **口頭発表**(301A)

9:00 - 10:30 反応性気体

10:45 - 12:15 エアロゾル

12:30 - 大気化学研究会総会

13:45 - 15:15 中国

15:30 - 17:00 物質循環・輸送

ポスター発表 (5月29日(木)16:00 18:30、コンベンションホール)

演題番号	タイトル・著者
F118-P001	関東平野における GOME による対流圏 NO ₂ コラム量観測と大気常時監視局による地表 NO ₂ 観測の比較 野口克行・伊藤春奈・柴崎登紀子 ほか
F118-P002	2007 年夏季東京大気観測:パルス差分吸収分光法による NO ₂ 計測 神戸康聡・戸野倉賢一・宮尾優香 ほか
F118-P003	Kinetic study of a bromine monoxide radical (BrO) with a ethylperoxy radical (C ₂ H ₅ O ₂) using cavity ring-down spectroscopy 山農大輔・橋本訓・川崎昌博
F118-P004	PTR-MS を用いた海洋表層における溶存 VOC の新規連続定量システムの開発 亀山宗彦・谷本浩志・猪俣敏 ほか
F118-P005	西部北太平洋亜寒帯における冬季の揮発性有機化合物フラックスの測定 大木淳之・横内陽子
F118-P006	共鳴多光子イオン化質量分析法による揮発性有機化合物の分子選択的なリアルタイム分析 - 大気化学への活用 - 松本淳・石内俊一・藤井正明
F118-P007	HO ₂ ラジカル不均一反応実験: レボグルコサン粒子との反応-湿度による取り込みの変化- 竹谷文一・金谷有剛・秋元肇
F118-P008	エアロゾル中の有機成分検出への陽子移動反応 - 飛行時間型質量分析計の応用 猪俣敏・谷本浩志
F118-P009	沖縄辺戸岬における有機エアロゾルの組成と季節変化:2005 - 2007 年に観測された n-アルカン類 佐藤圭・小川志保・田中友里愛 ほか
F118-P010	有機エアロゾルの光反応過程 シン ジャワ・潘 翔・Mang Stephen A. ほか
F118-P011	バックグラウンド黄砂の化学的特徴 鈴木一成・五十嵐康人・高橋宙 ほか
F118-P012	アジア大陸起源空気塊中のブラックカーボンの測定と放射影響 白岩学・近藤豊・茂木信宏 ほか
F118-P013	中国北京における CCN 粒径スペクトルとエアロゾル混合状態の測定 桑田幹哲・宮川拓真・竹川暢之 ほか
F118-P014	Model simulation using biomass-burning emission inventories based on fire spot information for Taishan field campaign in June 2006 山地一代・滝川雅之・Li Jie ほか
F118-P015	北京郊外の蟒山における揮発性有機化合物測定 加藤俊吾・Suthawaree Jeeranut・梶井克純 ほか
F118-P016	Large-scale air pollutions and their relationship in inflow, outflow and source regions of East Asia Pochanart Pakpong・Liu Yu・金谷有剛 ほか

F118-P017	中国都市郊外部、夏季における NO _x 、NO _y の挙動
	北和之・近藤豊・竹川暢之 ほか
F118-P018	南米チリ・アタカマ高地における成層圏 ClO のミリ波観測
	長浜智生・水野亮・前澤裕之 ほか
F118-P019	自動車排ガス中水素の安定同位体的特徴
	柴田裕樹・山田桂大・豊田栄 ほか
F118-P020	地上赤外分光観測によるつくば上空での CH ₄ 高度分布の変動解析
	鶴島大樹・村田功・森野勇 ほか
F118-P021	衛星観測データによる水田から放出されるメタンについての解析
	衛藤聡美・有山悠子・野口克行 ほか
F118-P022	陸域温室効果ガスフラックス観測手法の開発
	須藤 重人
F118-P023	民間航空機で観測された CO ₂ 濃度の鉛直分布と季節変動
	町田敏暢・松枝秀和・澤庸介
F118-P024	気球搭載用 CO ₂ 計測モジュールの開発
	井出智幸・藤井宏樹・金田昌廣 ほか
F118-P025	大気中 CO ₂ カラム濃度計測器の開発・測定
	川崎昌博・伊吹紀男・美濃村満生 ほか

口頭発表 (5月30日(金)9:00 17:00、301A)

反応性気体 座長:中山智喜			
演題番号	開始時刻	終了時刻	タイトル・著者
F118-001	9:00	9:15	GOME とオゾンゾンデで観測された東アジアの対流圏オゾン気柱量の季節変化
			林田佐智子・瓜田直美・川岸諒子 ほか
F118-002	9:15	9:30	SHADOZ データによる熱帯オゾンの季節変動と年々変動
			森岡浩・藤原正智・塩谷雅人 ほか
F118-003	9:30	9:45	沖縄辺戸岬における MAX-DOAS 法による多成分同時観測
			入江仁士・金谷有剛・秋元肇
F118-004	9:45	10:00	フッ素との蛍光反応を利用した DMS 濃度の高速測定装置の開発
			永尾一平・近藤文義・加藤俊吾 ほか
F118-005	10:00	10:15	低分子量アルケン類の大気酸化過程
			岩崎絵利果・千葉仁・中山智喜 ほか
F118-006	10:15	10:30	Formation of nitrate in aqueous aerosol microdroplets exposed to gaseous NO ₂
			藪下彰啓・江波進一・Hoffmann Michael R. ほか
	10:30	10:45	休憩

エアロゾル 座長:竹川暢之			
演題番号	開始時刻	終了時刻	タイトル・著者
F118-007	10:45	11:00	Cd, Zn & Hg isotope compositions of PM ₁₀ of main atmospheric sources of pollution in Paris: New tools for a precise discrimination
			Widory David
F118-008	11:00	11:15	エアロゾル光学特性計測における従来法の問題点:レーザーキャピティリングダウン法との同時観測
			中山智喜・萩野理恵・松見豊 ほか
F118-009	11:15	11:30	広粒径検出能の単一煤エアロゾル計測装置の開発と、それを用いた北極における観測結果
			茂木信宏・近藤豊・竹川暢之 ほか
F118-010	11:30	11:45	ブラックカーボンの混合状態を表現したモデルによるエアロゾルの光学特性と雲凝結核特性
			大島長・小池真・近藤豊 ほか
F118-011	11:45	12:00	全球エアロゾル輸送モデルによる海洋上清浄大気におけるエアロゾル-雲の相関の再現性
			五藤大輔・竹村俊彦・中島映至 ほか
F118-012	12:00	12:15	領域スケールのエアロゾル輸送モデルの開発と検証
			梶野瑞王・近藤豊・小池真 ほか

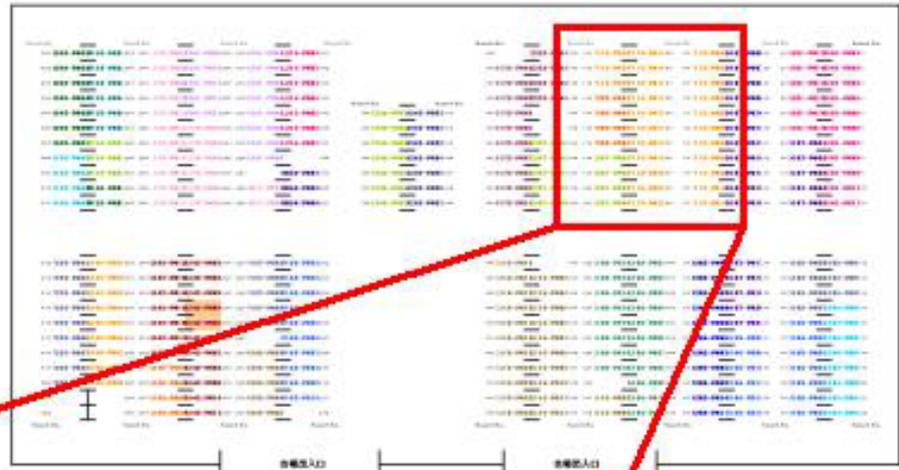
12:30

大気化学研究会総会

中国 座長:大島 長			
演題番号	開始時刻	終了時刻	タイトル・著者
F118-013	13:45	14:00	2007年秋季嶗山(中国・北京郊外)集中観測:概要とブラックカーボン測定比較
			金谷有剛・竹谷文一・Pochanart Pakpong ほか
F118-014	14:00	14:15	2007年9月、北京郊外の嶗山におけるエアロゾル粒子の化学組成と光学特性の測定
			竹谷文一・金谷有剛・入江仁士 ほか
F118-015	14:15	14:30	領域3次元モデルを用いた北京周辺域におけるエアロゾルの変動過程の再現と排出源の領域別寄与
			松井仁志・小池真・近藤豊 ほか
F118-016	14:30	14:45	2006年夏季到北京郊外で観測されたエアロゾル濃度の時間変動
			竹川暢之・宮川拓真・韓盛喜 ほか
F118-017	14:45	15:00	泰山における有機エアロゾルの組成と濃度変動
			河村公隆・奥沢和浩・Aggarwal Shankar ほか
F118-018	15:00	15:15	中国中東部におけるオゾンの生成と輸送 観測に基づくモデル解析
			秋元肇・Li Jie・Pochanart Pakpong ほか
	15:15	15:30	休憩

物質循環・輸送 座長:須藤重人			
演題番号	開始時刻	終了時刻	タイトル・著者
F118-019	15:30	15:45	Real-time measurements of atmospheric CO ₂ isotope ratios (13C, 18O) using mid-IR QCL laser absorption spectroscopy
			Pearce Julie・岩崎絵利果・中山智喜 ほか
F118-020	15:45	16:00	大気海洋間ラドンフラックスの観測
			田阪茂樹・松原正也・飯田孝夫 ほか
F118-021	16:00	16:15	Estimation of recent global carbon budgets based on atmospheric O ₂ /N ₂ and CO ₂ measurements at Hateruma and Ochi-ishi
			遠嶋康徳・向井人史・野尻幸宏 ほか
F118-022	16:15	16:30	Continuous measurements of atmospheric CO concentration at Syowa station and interpretation of its variations by using a Chem-AGCM
			八代尚・森本真司・菅原敏 ほか
F118-023	16:30	16:45	太平洋上における大気中一酸化二窒素濃度の時空間変動
			石島健太郎・中澤高貴・青木周司 ほか
F118-024	16:45	17:00	領域気象モデルと大気中濃度観測値を利用した東アジアにおける代替フロン排出分布推定
			白井知子・横内陽子・菅田誠治 ほか

ポスター会場(コンベンションホール)レイアウト



	Board No.				Board No.			
1	133	111	F118-P023	F118-P012	89	67	F118-P001	[]
2	134	112	F118-P024	F118-P013	90	68	F118-P002	[]
3	135	113	F118-P025	F118-P014	91	69	F118-P003	[]
4	136	114	F208-P001	F118-P015	92	70	F118-P004	[]
	137	115	F208-P002	F118-P016	93	71	F118-P005	[]
	138	116	F208-P003	F118-P017	94	72	F118-P006	[]
5	139	117	F208-P004	F118-P018	95	73	F118-P007	[]
6	140	118	E207-P001	F118-P019	96	74	F118-P008	[]
7	141	119	E207-P002	F118-P020	97	75	F118-P009	[]
8	142	120	E207-P003	F118-P021	98	76	F118-P010	[]
9	143	121	E207-P004	F118-P022	99	77	F118-P011	[]

プログラム日程(2008/04/02現在)

日程会場(定員)	5月25日(日)				5月26日(月)				5月27日(火)				5月28日(水)				5月29日(木)				5月30日(金)			
	AM1	AM2	PM1	PM2	AM1	AM2	PM1	PM2	AM1	AM2	PM1	PM2	AM1	AM2	PM1	PM2	AM1	AM2	PM1	PM2	AM1	AM2	PM1	PM2
	9:00-10:30	10:45-12:15	13:45-15:15	15:30-17:00	9:00-10:30	10:45-12:15	13:45-15:15	15:30-17:00	9:00-10:30	10:45-12:15	13:45-15:15	15:30-17:00	9:00-10:30	10:45-12:15	13:45-15:15	15:30-17:00	9:00-10:30	10:45-12:15	13:45-15:15	15:30-17:00	9:00-10:30	10:45-12:15	13:45-15:15	15:30-17:00
国際会議室(300)	A002:地球惑星トップセミナー(9:45-11:30)	A001:高校生発表表	U051:月探査機「かぐや」	U052:地球環境と地球惑星				特別シンポジウム:世界の気候変動と21世紀の国策				U053:進むべき道(2)		評議会	T228:連動型巨大地震	U054:南海トラフ地震発生帯**		S142:地震発生の物理・震源過程						
101A(70)	R223:レアメタル・レアアース	G210:地殻流体ダイナミクス	K130:岩石・鉱物・資源		K213:中性子地球惑星科学		G209:地球掘削科学	J240:遠洋域	B201:化学合成生態系の進化	X156:人間環境と災害リスク		X165:GIS		W155:コアが拓く地球環境変動史		Y157:地質ハザード・地質環境	J242:陸域・海洋相互作用	E109:宇宙プラズマ**		W153:雪氷学	W154:雪氷圏と気候			
101B(70)	G122:変形岩・変成岩	V152:火山・火成活動	J234:科学史・科学論	G119:地域地質と構造発達史	J238:サンゴ礁		O219:定量モデル化と岩石物理	L133:海と陸-過去,現在,モデル		H125:同位体水文学2008	J117:地震・火山電磁気現象		Z159:地形		E110:地球内部電磁気学		L173:北極域		L215:カラマツ林の炭素・水循環					
201A(140)	J243:I*Yプロジェクト**	A001:高校生発表セッション		V151:活動的火山				V170:火山の熱水系	I212:地球深部スラブ		I128:地球深部科学		E206:STPプロジェクト間連携		J235:地球温暖化問題の真相		P222:極限環境生物と宇宙生物学**(-11:45)		B103:アストロバイオロジー(11:45-)					
201B(140)	T229:プレート収束帯の変形運動			J158:断層レオロジー - と地震発生		T227:応力逆解析手法とその活用		E114:電離圏・熱圏		E112:磁気圏電離圏結合		M134:惑星大気圏・電磁圏		P168:太陽系小天体		E207:高々度放電発光と関連現象**								
202(70)	G120:堆積と表層環境(-11:30)	J250:地球惑星年代学一般(11:30-)	G123:地球年代学	L216:低緯度域の気候変動	J236:地球情報の標準と管理	J161:情報地球惑星科学		C202:顕生代グローバル環境変動		O218:地下水と物理探査		J251:物質移行と環境評価**	O135:物理探査		F208:成層圏過程と気候		J245:逆問題解析の新展開	Z233:閉鎖生態系	J249:モンスーン気候他分野連携					
203(53)								J160:地球流体力学	C204:断層帯の化学	O220:空中地球計測	Z171:環境リモートセンシング				J172:陸域の生物地球化学	Z232:大気電気学								
301A(110)	A005:キッチン地球科学	A003:教育とアウトリーチ		A006:地球/地理オリンピック		C203:非質量依存同位体効果		I127:レオロジーと物質移動		Q140:沖積層研究の新展開	S145:地震予知	G167:ガスハイドレート		D105:重力・ジオイド	C104:固体地球化学・惑星化学		F118:大気化学							
301B(130)	K131:鉱物物理化学			A004:男女共同参画		S169:低周波振動現象	L132:古気候・古海洋		B102:地球生命史	G121:地層処分	E111:地磁気・古地磁気		Q139:第四紀		R224:ハイドレート資源開発		P137:宇宙惑星固体物質							
302(200)	J235:地球温暖化問題の真相			P221:月				S146:強震動・地震災害		S225:長周期地震動	S144:地震観測・処理システム		B101:生命・水・鉱物相互作用		J248:関東アスペリティ		J163:巨大地震発生帯の科学							
303(200)	S143:地震活動		S226:地震波伝播		S147:地殻構造			J237:活断層と地震災害軽減	S141:活断層と古地震	J235:地球温暖化問題の真相		L214:温暖化防止		S149:断層深部すべり過程		J246:水惑星		S148:津波						
304(160)	P138:火星(-14:30)		E108:太陽圏(14:30-)		E113:宇宙天気				P136:惑星科学		J239:小型科学衛星による科学**		D106:測地学		E116:磁気圏物理									
オーシャンB(140)	V231:カルデラ	K129:オフィオライトと海洋底		J164:海洋底地球科学			J244:北西太平洋プレート		V230:火成活動への新アプローチ	E115:大気圏・熱圏下部		H126:都市域の地下水・環境地質		H124:水循環・水環境		J241:南極と地球環境	D107:地殻変動	D205:合成開口レーダー						

特別公開セッション ユニオンセッション インターナショナルセッション**

ポスター発表: コンベンション ホール	5月25日(日) A001:A003:A005:E108:G120:G122:G123: G210:J164:J243**:J250:K129:K130:K131: P138:R223:S143:S226:T229:V152:V231	5月26日(月) C203:E113:G119:I127:J158:J161:J234: J236:J244:K213:L132:L216:L217:P221: S147:S169:T150:T227:V151:V170:V230	5月27日(火) B102:B201:C202:C204:E112:E114:G121: G209:I128:I212:J160:J240:J251** L133: O219:P136:S141:S146	5月28日(水) E110:E111:E115:G167:H124:H125:H126: J117:J166:J239** J247:L214:M134: O135:O218:O220:Q139:Q140:R224:S144: S145:S225:X156:X165:Y157:Z159:Z171	5月29日(木) U054** B101:C104:D105:D106:D107: D205:E109** E116:E207** F118:F208: H211:J163:J172:J241:J242:J245:J248: J249:L173:L215:P137:P168:S142:S148: S149:T228:W153:W154:W155:Z232	5月30日(金) ポスター発表はありません
---------------------------	--	--	--	---	--	--------------------------

ポスター共通コアタイム17:15-18:45(5/28のみ17:00-18:30) ポスター掲示時間 10:00-19:30

*下線付きのセッションは別の時間帯にコアタイムを設定しています。後日(4月上旬)掲載いたしますので、大会案内HPの"プログラム"ページで必ず時間をご確認下さい。

*斜体文字(黒)のセッションはポスターのみ(H211:湖沼における物質循環, J166:地図・空間表現, J247:デジタルアース, L217:ヒマラヤとモンスーン, T150:テクトニクス)